

磐城之民聲

年 頭 之 辭

こゝに昭和八年迎春の喜びを讀者諸彦と頌ち得ることを衷心より感謝す。

回顧一年想ひば陰慘なる不景氣のトバリによつて明けはなされ、不景氣狂燥曲の中に閉ざされし昭和七年であつた、其の間國民は精神的に物質的にあらゆる憂鬱さを味はねばならなかつた、即ち安定を傳へられつゝも國民實生活には以前として焦慮と不安以外には何物をも與へぬ經濟界は如何に暗影を以て社會を包んだか

かくて經濟界回復の曙光かならずといへども金輸出再禁止及び低利資金貸付による中商工業者更生政策の效果漸く現はれんとし財界の前途に一抹の光明を見出し得たるを喜ぶ、黎明は正に近づきつゝあるのである。而も他方政治國際關係にあつては如何……

即ち日支事變の終息に伴ふ我が國の當然なる滿洲國承認問題に絡んで狼心を抱きて羊面を被るにも等しき世界各國は唯一の保護機關たる國際聯盟組上のもとして甲論乙駁各自國の利益を計らん事にのみ汲々たる状態である。勿論吾々は我が代表の敢然滿洲の曠野に於ける同胞の心を以て心としこれら言論平和の衣套を以て慾望を逞しうせんとする群盲列國を退くるを信ずれど未だ暗雲低く垂れ込め依然として時局多難裡に昭和七年を送る、和かなる新春を迎へて過去の心勞と憂鬱とを忘れ去るべし、されどされど是は來るべきより以上の苦難に耐へ得るの新らしき勇氣を養はんが爲の休養であり、更生への爲の休養である事を吾々は忘れてはならぬ、昭和八年よ朗かなれ……

苦難と忍從陰鬱と欠乏あらゆる試練に耐へ來りたる國民は希望と緊張とを以て迎へたる新らしき年に對して多大の期待を繋ぐと共に自力更生の第一歩を強く踏みしむるべきである。而して此の意氣と緊張とが續く限り道は自から開かれ其處に光明と希望とが吾等を待つ事を確信するものである。

昭和八年一月一日

磐城之民聲新聞社

發行日、一、十一、廿一日 (毎月三回)
 編輯兼發行印刷人 北川 秀雄
 發行所 福島縣平町南町七十八番地
 廣告料 五號十二字詰一回 五十錢
 一部十錢 一ヶ月二十錢 送料五厘

年 新 賀 謹

衆議院議員 比 佐 昌 平	縣會議員 萩 原 義 雄	同 石 川 德 壽	同 若 松 美 三	前縣會議員 鷺 清 昇	植田町長 草 野 三 郎	赤井村 村會議員	四倉町町長 新 妻 盛	全町會議員 金 成 岩 吉	全 中 野 捨 與	全 小 港 宗 吉	全 長 谷 川 西 次 郎	全 植 田 萬 次 郎	湯本町會議員 木 村 德 三 郎	同 若 松 孝 平	同 比 佐 源 造	同 比 佐 源 造	同 鯨 岡 賢 道	同 勿來町長 大 平 睦 四 郎	同 勿來町會議員 小 松 修 一 章	同 赤 津 信 太 郎	同 生 田 目 信 太 郎	大野村會議員 中 野 幸 江 平	大野村 木 田 織 幸 江 平	好問村會議員 猪 狩 貞 一	全 森 永 太 郎	全 稻 葉 廣 吉 郎	好問民政同志會長 鈴 木 久 太 郎	好問青年會幹事 安 瀨 三 郎	内郷村會議員 志 賀 留 三 郎	内郷村 根 本 林 吉 郎	全 竹 島 廉 平	平町々會議 吉 田 寅 五 平	同 吉 田 寅 五 平	同 荒 川 淺 次 郎	同 吉 川 安 次 郎	平町民政同志會 會 長 阿 部 唯 助 郎	小 鈴 盛 之 次 郎	廣 小 木 野 正 鶴 一 郎	廣 山 木 正 鶴 一 郎	味 岡 子 忠 之 郎	松 本 元 三 郎	木 田 藤 次 郎	村 上 藤 次 郎	小 村 松 上 藤 次 郎	高 橋 利 松 茂 郎	水 野 嘉 太 郎	關 澤 文 勝 太 郎	前 野 文 勝 太 郎	星 野 文 勝 太 郎	真 木 甚 太 郎	顧 問 成 瀨 巴 三 郎	植田町 柳 內 福 忠 太 郎	全 小 川 福 忠 太 郎	全 太 田 稻 城 郎	植田消防組頭 坂 本 龜 太 郎	湯本消防組頭 井 坂 千 代 松	小名濱町 小 島 竹 次 郎	全 高 木 武 士 郎	四倉町 植 田 三 郎	湯本町 山 崎 武 賴 郎	全 小 野 恒 吉 郎	全 佐 藤 和 平 衛	胡摩澤郵便局 樫 村 義 衛
------------------	-----------------	--------------	--------------	----------------	-----------------	-------------	----------------	------------------	--------------	--------------	------------------	----------------	---------------------	--------------	--------------	--------------	--------------	------------------------	--------------------------	----------------	------------------	---------------------	--------------------	-------------------	--------------	----------------	-----------------------	--------------------	---------------------	------------------	--------------	--------------------	----------------	----------------	----------------	-----------------------------	-------------	-----------------	---------------	-------------	-----------	-----------	-----------	---------------	-------------	-----------	-------------	-------------	-------------	-----------	------------------	--------------------	------------------	----------------	---------------------	---------------------	-------------------	----------------	----------------	------------------	----------------	----------------	-------------------

平産婆 看護婦 學校長 清野キヨ女史

世に女傑と言ふ言葉がある。とすれば、而して若し平町にその典型的人物を求めるとき、第一に吾が清野キヨ女史に指を屈することになりては産婆看護婦學校長として多くの子女教育の任に當るかたはら派出婦會長として子弟地方派出の煩雜而も重大なる責任を双肩に負つて居る、而も出で、は或は愛國婦人會員とし赤十字會員とし婦人團體公共事業に携はり日もなほ足らず五尺の男子遠く及ばざる活動振りに



は感嘆を通り越して時折お目にかゝる筆者など全く氣の毒になる位ひである、先生は然し健康で幸です、と言へば「私も自分ながら感謝して、そして毎朝地盤を築き上げつゝある柳眼より醒めたる時あ、今日町若松牧場を筆者は一日足も亦何か皆様の爲めに働けることを喜びます」何んとあらう、衛生と慈善の名のつく事業には何事如何なる場合にも常に其の先驅者として先生の勇姿に接するも、ひの道理で如何にしても

筆者寡聞なれど傳へ聞く所養豊富な牛乳を町に供給せよれば女史は未だ若くしん爲めにはやはり金はか、て郡内に於ける衛生、公共つても第一良種の牛を飼養事業敷設殆んど見るべきも、飼料の精選で、のなきに早くも着眼留意し、實際見て下さいこの牛など爾來二十星霜女子としては算盤にたつたもんであり到底堪へ得べくもない、難せん指ささるゝを見るに苦困難に遭遇しつゝも猶確成程素人目には一際目立つ固たる意志を以て堪へ忍びた立派なのが居る、然しやたる血涙史こそ清野女史のつと識者の間にも認めらる今日をあらしめたのである、様にたつたのがせめても「先生今後の抱負は」女史の感めです」……と

柳町 電話五五二番
若松兄弟牧場

平町牛乳搾取業界に着々
若松武君

九品寺前
若松平搾取所

お互に乳養を取らんと欲
若松増平君

若松兄弟牧場、折よくする者總てが先ず要求する、若主人武君がニョヤカな笑處のものは清淨と滋養の二、顔を迎へて呉れる、營業に條件を具備せるものであらう、本紙が悦んで紹介する程の事ありませんが自分はこの理想を完備せる模、は只平常の事だけは考へ範工場として推稱するに躊、即ち時かぬ種は生踏しない、一度訪れたる者、殺菌

場機具の完備而して衛生に留意せし苦心の跡とを見る感嘆久しくせざるを得まい、何事も経験と努力です、品質の向上を計るには是以外にありませぬ、努力と衛生的これが私の信条です」と言葉少き中に藏する烈々たる氏の營業に對する熱誠、これある哉平町民の安んじて乳養を取り得ると同時に若松牛乳搾取場と大多數町民に親しまれ今日の隆盛を成せる所以と暫し感に打たれて辭去す

飯塚理髮店
平町紺屋町
飯塚春雄

牛豚御小賣
三三三三屋
平町 電話三三三三

鶴屋洋品店
平町四丁目 電話一四〇〇

大谷計時病院
平町三丁目 電話一九

時計、貴金屬、眼鏡
秋山時計店
平町前通り

日活、松竹
高級
常設
平館
松田卯次郎
電話四六六

内科一般
醫學博士
難波睦
平町大町 電話五〇二番

渡邊外科醫院
平町田町

萬漬物
茗荷屋
平町土橋 電話一〇六

家具漆器
和久井屋
平町一丁目 電話四〇五

四倉助役
營波千之助
四倉漁業組合長

土木請負
長谷川長作

湯本町
渡邊長作

高級
映畫
世界館
鈴木寅次郎
電話四四

マルトモ
運動具店
電話五九七

マルトモ
マルトモ書店
電話三三四

時計、蓄音機
會田時計店
平町四丁目 電話三六三

フランス式
宮川理髮店
平町前

常陸セメント特約店
酒井伴城商店
平町田町 電話六六一

魚問屋
六角屋
平町四丁目 電話二一五

平町鍛冶町
二葉印刷所
電話一九三

平町鍛冶町
酒井印刷所

平町鍛冶町
三國屋印刷所
電話五三三

山崎合名會社
家具、漆品
平町土橋 電話一〇番

丸ほん
平町四丁目 電話三五九

牛料理
中野洋品店
平町二丁目 電話五三

御料理
石川
平町田町 電話四三

果物問屋
高木屋本店
平町三丁目

古鍛冶品長
木澤常松

内郷村白水診療所
石川直得

平町南町
青木寫眞館
電話四二二

平町田町
中島寫眞館

平町大町
諸橋敏一郎
電話四一二

ペン塗工事請負
只野清
平町大町 電話五八三

關湯本入山
矢吹自動車部
電話一九

平町鍛冶町
草野質店
電話八八

平町警察署西側
二葉印刷所
電話一九三

平町鍛冶町
酒井印刷所

平町鍛冶町
三國屋印刷所
電話五三三

山崎合名會社
家具、漆品
平町土橋 電話一〇番

丸ほん
平町四丁目 電話三五九

牛料理
中野洋品店
平町二丁目 電話五三

御料理
石川
平町田町 電話四三

果物問屋
高木屋本店
平町三丁目

古鍛冶品長
木澤常松

内郷村白水診療所
石川直得

平町南町
青木寫眞館
電話四二二

平町田町
中島寫眞館

平町大町
諸橋敏一郎
電話四一二

ペン塗工事請負
只野清
平町大町 電話五八三

和洋結髪
一般美容術
御結婚衣裳着附
アヅマ美容院
平町才樋小路 電話三四五

機械商諸
田邊商店
平町白銀町
電話二九四

問牛豚屋肉
大塚八郎商店
平町驛前通り
電話六六七番

武藏鐵工所
平町搔樋小路
電話五五番

平町城山
聚樂園藥湯
電話一〇九番

平町一丁目
聚樂園藥湯
電話四七〇番

飯田近治
河田鐵工所
電話五五番

梅町七六二
佐藤齒科醫院
平町四丁目
電話五〇八

平町六丁目
木村外科醫院
電話三〇九

花柳病専門
磐城共濟病院
電話六四一

釜屋商店
電話九九番

常磐材木業界の偉才 秋山市造氏

開業七週年新築落成 斯業制覇の準備全く成る

世に天才なるのみを以てし半生である。

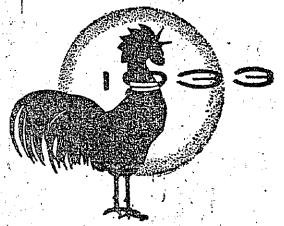
成功者たり得ず、成功者た氏は舊會津藩士として生れ
るには必ず不漸の熱と努力たるも若年にして既に時勢
の二要素を要すとか……を見るの眼あり、燃ゆるが
今や昭和八年新春を迎へ植如き一大希望を抱き大正十
田町の一角に宏壯なる家屋五年快然として單身植田町
を新築移轉し面目を一新すに至り目的道程の第一歩と
ると共に材木業界に異状のして、某商店に雇はれしが
躍進又躍進を續ける秋山市氏の大器たる途に一店員た
造氏……果して何がかくるに留めず僅々二ヶ年にし
氏の今日の雄姿を築き上げて宿願たる材木業を獨力經
しめたか、それは實に血と汗營而も努力の跡は最大なる
即ち熱と努力によつて彩ら製材工場を敷設自から職工

と共に營々克苦精勵今日あ
る基礎を造つたのである。
而もこの努力家にしてこの
人情味の豊かさを……
即ち現今世をあげて不況に
喘へぎ、やれ工賃の値下だ
勞銀の不拂だと悲惨なる聲
さとして植田町に於ける功績と
又隠れたる民政黨の闘將に
して植田町に於ける功績と
潜勢力は實に偉大なるもの
あり此の主義たる名利に
偏せず正義の爲に自己
を犠牲にして本懐なりとし
常に影の人として現在に至
るも氏の人格と今日までの
功績とは期せいでして來るべ
し町會の人たらしむべく昭
和八年度に於ける氏の活躍
こそ衆人刮目の焦點である

尚美堂藥局 平田町 電話二六八番	關内藥局 平四町目 電話四〇番	堀藥局 平二町目 電話三二六番	大平藥局 平一町目 電話六四二番	山野邊藥局 平五町目 山野邊東次郎
高久病院 平田町 電話五一二番	渡邊整骨療院 平鍛冶町	木村病院 平新川町 電話一六四番	井坂婦人科醫院 平田町 電話五五九番	川井科診療所 平南町 電話一八一番
増田醫院 平南町 電話四八二番	織田科醫院 平南町 電話六一四番	丹野科醫院 平田町 電話三八五番	齋藤洋服店 平南町 電話呼五五二番	富田洋服店 宮川勝夫 平田町大通り
大崎洋服店 平田町 電話九六番	佐川洋服店 平三町目 電話四一八番	高崎洋服店 平町才樋小路	丸善洋服店 大久保善八郎 平研町	三井吳服店 平三町目 電話三八四番

小名濱水産試験所 所長 飛塚高次 土木請負 強口唯一郎 平南町	なかや洋服店 平三町目 電話二〇三番	本間綿店 平南町 電話二六九番	金子屋 平一町目 川岸通り	藤市 平警察通り 電話一六六番	名代更科そば 藤よし 平警察署通 電話一六一番	大屋 平二町目 電話十三番	荒物雜貨 吉田恭平商店 湯本町 電話五二番
つた本 湯本町 電話一〇四番	福壽軒 平田町 電話二八番	福榮亭 平田町 電話三三五番	世界 平町聚樂館側 電話四六番	松ヶ岡 平町松ヶ岡公園入口	杵壽 平町常磐銀行横町 電話六七九番	カツエー カツエー 平町常磐銀行横町	カツエー カツエー 平町三井吳服店横町
梅月 平驛前通り	越の家 名天井 御料理 電話三三〇番	とさわ亭 御料理 平南町川岸通り	ハラダイス 各學校 御用 電話三二二番	久保田 製造所 平警察通り 電話三八三番	泉屋旅館 平二町目 電話二二七番	三井自動車部 平二町目 電話一五六番	好間軌道自動車部 平二町目 電話二二〇番
益 平田町 電話三二二番	大製靴部 大塚風三郎 平田町 電話七七番	三井商會 平三町目 電話二九五番	好間自動車部 電話六八五番	三井自動車部 電話六八五番	好間自動車部 電話四三番	好間自動車部 電話四三番	好間自動車部 電話四三番

謹賀新年



磐城之民聲新聞社
社長 齋藤 岳洞
主幹 北川 秀雄
外社員 一同

平町庶民金庫
平町旅館業組合
平町藝妓屋組合
平町料屋組
平町西津屋組
平町三津屋組
平町運轉株式會社
石城郡內各學村長會
石城郡內各學村會
東部電力株式會社平營所
磐城土地建物會社
平町銀行商會
磐山無盡出張會
湯本信用無盡株式會社
湯本町藝妓置屋組合
湯本町溫泉旅館組合
湯本町料理屋組合
古河炭礦株式會社好問礦業所
磐城炭礦株式會社鑛業所
入山炭礦株式會社鑛業所
值田水力電氣株式會社
五十嵐炭礦不動鑛業所

片倉磐城製糸株式會社
事務長 中野吉賢
倉 萬年瓦工業株式會社
古市粘土探掘所 古市喜三郎
小名濱町 小野晉平
全町會議員 立花雄七
全町在郷分會長 立花秀吉
小名濱町助役 鈴木木榮
小名濱町助役 佐々木善作
全町登記所々長 久保田醫院
小名濱町 中村醫院
片岡醫院
森會齒科醫院
植田町青年團長 小宅嘉一
會社 平煉炭製造所
泉村村長 上遠野新重郎
助役 田子祐太郎
助役 柳野內義一
雙葉郡大久村 水野谷幸一
久之濱小學校 校長 木野田茂太郎
堀江工業株式會社 江口忠一

泉村 會田醫醫院
泉村會議員 齋藤昌萬
川部村長 兒玉萬平
植田町 古川傳一
勿來町長 赤津庄兵衛
助役 横山太一
植田町助役 小野忠衛
勿來郵便局長 赤津
錦村 正木次郎兵衛
錦村消防組頭 山崎登
內郷消防頭 佐藤三平
平町町會議員 關內正一
高橋龍若
平土木監督 小林清吉
所長 麻植晴吉
平驛長 弓野丑吉
平機關庫主任 國井正
平町簡易保健診療所 國井正
郡山市土木建築請負業 鈴木仙松
江名濱町 鈴木省三
土木請負業 鈴木省三
江名濱町 遠藤俊一郎
石城郡 比佐信太郎
理髮組合長 比佐信太郎
平町理髮業組合第一部 加藤卯之吉
部長 加藤卯之吉
豐間漁業組合長 馬目常吉
酒造業 近藤吉松

四倉町郵便局長 菅波富太郎
植田町 市原支店
植田町郵便局長 馬上一
額賀醫院
四倉町 額賀醫院
四倉女子職業學校
金融業 山下三次
金融業 鈴木重藏
平町柳町 佐藤慶太郎
植田小學校校長 鈴木佐忠
平町 丸百材木店
平町 長材木店
平町 坂本紙店
平町南町常警商事 柏原四郎
九平運送店 色川光以
好間村北好間 熊谷酒造店

士木請負 只野忠康
平町四町目 百澤商店
平町二町目 清光堂書店
平町三町目 大黒屋商店
平町二町目 西村藥局
平町一町目 丸や夕比店
平町四町目 萬屋菓物店
平町土橋 鈴藏魚店
平町三町目 阿部源商店